

「再発・難治低悪性度B細胞リンパ腫に対するレナリドミド、リツキシマブ療法の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施致します。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年4月から2025年3月までに埼玉医大国際医療センターを受診し、レナリドミド、リツキシマブ療法を行った再発・難治低悪性度B細胞リンパ腫21例を対象としております。

2. 研究の目的

当院における再発・難治低悪性度B細胞リンパ腫の治療成績、臨床経過を検討し、今後の新たな症例に活用することが主な目的であります。

3. 研究期間

病院長の許可後～2028年03月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2026年10月31日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

- ・患者背景(年齢、性別、PS、合併症)
- ・臨床検査所見(LDH、CRP、可溶性IL-2レセプター、他の腫瘍マーカー)
- ・画像所見(CT、FDG-PET、超音波等)
- ・病理所見(リンパ節生検等)
- ・治療成績(CT、FDG-PETによる治療効果の判定)
- ・有害事象

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医大国際医療センター造血器腫瘍科において、研究責任者である高橋直樹が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

再発・難治低悪性度B細胞リンパ腫と診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究代表者

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 教授 高橋直樹

研究者

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 教授 高橋直樹

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 教授 脇本直樹

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 講師 郡 美佳

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 教授 高橋直樹

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはできません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 高橋 直樹

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8:30～17:30）

メールアドレス：ntakashi@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：再発・難治低悪性度B細胞リンパ腫に対するレナリドミド、リツキシマブ療法の検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 造血器腫瘍科 高橋 直樹